

■欧州・ポーランド：ポーランド、仏独主体のバッテリー製造計画に参画

2019年7月4日付の現地報道によれば、フランスとドイツが中心となって進めている欧州のバッテリー製造能力の向上計画に対して、ポーランドが正式に参画を表明した。2019年6月28日に欧州委員会に表明し、同7月4日に両国大臣とともに式典を行った。同計画は、欧州の電気自動車で用いられるバッテリーの大半がアジアで製造されていることへの危機感から、フランスが7億ユーロ、ドイツが10億ユーロを投じて、2023年までに両国に一地点ずつバッテリー製造工場を建設するものであり、材料の調達やリサイクル手法の確立も目指している。ポーランド政府やポーランド企業が参画することとなるが、その支出予定額や具体的な関わり方等については明らかにされていない。また、イタリア、ベルギー、オーストリア、フィンランドの参画可能性も報じられている。